

男女共同参画の今と昔



講師：井上 明美さん（入田小学校長）
高村 千恵子さん（徳島新聞編集局次長）

家庭科教育における男女共同参画の意識の変化

井上明美さん

明治5年の家庭科教育は国家が統制するのではなく、女性に裁縫・作法といった教科を、教師が考へて教育する時代でした。大正8年、理科に含まれていた家事が独立し、家事・裁縫が必須となりました。終戦後、「日本国憲法」が公布されると教育面において次々と改革が行われ、男女の教育の機会均等化がなされ男女共学制が敷かれました。

なかでも女子教育は、GHQの指導のもと短期間に大きく改善されたのです。家庭科教育では、戦前の「良妻賢母」を指す家庭科から、男女ともに民主的な家庭建設を目指す家庭科への改革が行われ、当時の家庭科担当官のドノヴァン女史は、家庭科が女子の裁縫教科であったり、単なる技能教科に終わることを厳しく否定したのです。

昭和22年「教育基本法」、「学校教育法」が制定され、家庭科を民主的な家庭建設の教育と位置付け、小学校では家庭生活の重要さを認識するために、5年生から男女ともに家庭科を学ぶべきであるとしたのです。

か、現場教師や父母の中には、男子の家庭科履修に疑問や戸惑いがみられ、小学校校長からも家庭科は必要ないとする意見も出されました。

昭和26年に学習指導要領が改訂され、小学校家庭科の設置は、学校の事情により任意となりました。昭和33年までは、家庭分野は女子、技術分野は男子が学ぶという男女別教育課程でした。国は戦後40年近くも、性別役割を推進させる「家庭科」を作ってきたのです。

これらの教育に携わる者が男女共同参画の理念を理解するよう、意識啓発などに努める女性参政権を目指して立ち上がった、市川房江さん以降、土井たか子さんと続きますが、平成6年、高等学校で今までのなかった家庭科の男女共修がはじまることになりました。

家庭科を通じて、男女共同参画が遅れたことは言うに及ばませんが、男女が平等であること、を学び、知識は単なる知識ではなく生活に生かしてこそ意味を持つことを理解することが大切であり、今後固定的役割分担に捉われないように社会全体で男女共同参画を基本に考えなければならぬと思います。

徳島新聞紙面に見る男女共同参画の意識

高村千恵子さん

徳島新聞紙面に見る女性の問題は、家庭の暮らしに集約されていましたが、男女共同参画が進むにつれ、社会面や総合面へと移って行きました。徳島新聞社でも女性の記者が増え、私が入社当時、女性は1名だったのが現在は18名、全体の20%。記事の最後に女性の名前が目立つようになり、内容も女性ならではのアイデアにより徐々に変化を遂げています。

徳島における女性の活躍の例を挙げると、1989年乾晴美さんが参議院選挙で圧勝したことは、覚えている方も多いと思います。今、東京都知事が脚光を浴びていますが、国内の女性知事は北海道・山形・東京だけで、マドンナ旋風から25年経過しても進んでいないのが現状です。また、徳島県内で女性の議会議員がないのは北島・板野・三好市の3市町だけです。地方議員の有り方について今考える必要があると思います。本当の男女共同参画社会は、法律を制定しただけでは実現

し得ません。まず職場や地域の改善が必要です。性別による役割分担が未だ深く残っていますので、職場では女性が働き続けることができるよう就労環境の整備を促進する必要があります。家庭で、家事や育児をしている男性に対しても偏見を持つことなく、男性が積極的に地域に進出できるように、地域環境の整備が必要です。

男女共同参画はG7において日本は最下位で、他国に比較すると日本は遅れている現状を受け止め、国、地方公共団体は、男女共同参画社会の実現を目指した推進が必要です。



【新任】
下川 静子さん
(山城町)



【再任】
樫浦 知美さん
(東祖谷)

3/5
(日)



人権講演会 **入場無料**

森永 卓郎 氏

男と女のあり方が変わる

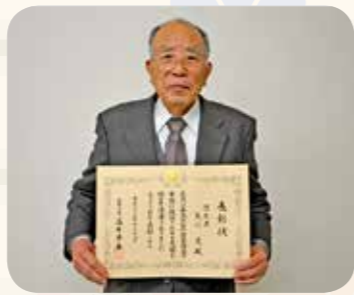
経済も変わる

トランプアメリカ大統領の誕生でこれからの世界経済や日本経済はどうなるのでしょうか。私たちが聞きたいお話が満載の講演会です。一人でも多くの参加をお待ちしております。

【日時】3月5日(日) 13時30分～
【場所】池田総合体育館サブアリーナ
【講師】森永 卓郎氏（獨協大学教授・経済アナリスト）
【お問い合わせ先】三好市役所市民課 人権室 ☎72-7622

総務大臣表彰

統計功労者表彰



矢川 克さん
(池田町中西)

10月18日は『統計の日』とされており、統計功労者に対する表彰が行われています。今年度は国勢調査に50年以上の長きにわたりご尽力された矢川克さんが、総務大臣より統計功労者として表彰され、1月16日に行われた徳島県統計大会で伝達されました。

文部科学大臣表彰

「三好市楽しく学ぶ英語教室・絵画教室」



土曜学習「三好市楽しく学ぶ英語教室・絵画教室」において地域の方々による支援活動が認められ、文部科学大臣表彰を受賞しました。この教室は、多様な知識や経験を持った地域の方々の協力により支えられています。平成27年度より市内の小中学生を対象に開催し、現在、たくさんの子どもたちが楽しく参加しています。

連載 地域おこし協力隊活動報告

「うだつマルシェ」と「四国酒まつり」

加藤有美

こんにちは。厳しい寒さが続きますね。さて、来たる2月18日(土)は「うだつマルシェ」と「四国酒まつり」が同時開催、池田がにぎやかになります！

私は西祖谷山村「栗校の宿あるせ」で実施している『山茶カフェ』として「うだつマルシェ」に出店します。冬場は山茶や有瀬のことを広く知ってもらおう活動として各地に出張しており、昨年は各種イベントを池田町本町通りで実施しました。和菓子担当である私は、今回は酒を使つたものも試作中です。

また、酒といえはこの冬から酒粕を料理に取り入れるようになりました。少しゆるめて加熱し、ペースト状にしておけば使いやすい、さまざまな料理に少しづつ入れていきます。

酒粕は食材の味を引き出し料理をおいしくしてくれるほか、消化吸収を助け、腸内環境を整えます。また血液をさらさらにしたり、新陳代謝を助け、お肌も若返るという何とも体に嬉しい食材です。酒粕の力で温まり、寒さを乗り切りたいものです。

「第4回 協力隊トーク！」

地域おこし協力隊の活動を知ってもらいたい、地域の方々の意見を聴きたいという思いで6町村を巡回している報告会も4回目、今回は三野町での開催です。

3名それぞれの活動報告と、参加者の方々の座談会の2部構成となっています。事前申し込みは不要ですのでお気軽にお越しください。

【日時】2月22日(水) 13時30分～15時30分

【場所】三好市三野体育館

【お問い合わせ先】三好市役所地方創生推進課 ☎72-7607

いけだスポーツクラブでは、競技スポーツだけでなく、健康づくり、スポーツの楽しさや仲間づくり、「人とまを元気にするために」活き活きとしたライフステージの場を目指します。皆さまのご参加をお待ちしております。なお、新年度プログラムについては、3月号でお知らせいたします。

【スポーツマーケット2017】

高校生の部活動紹介や市内の小・中学生とスポーツを通して交流するイベントです。

日時▼2月18日(土) 9時~(受付8時30分)
場所▼三好市池田総合体育館
お申し込み先・お問い合わせ先▼
三好市スポーツ少年団事務局(☎72-5755)

JA 阿波みよし様より
母子手帳ケースが寄贈されました



寄贈された母子手帳ケース

JA 阿波みよし様より1月18日、母子健康手帳ケース140個が三好市に贈呈されました。JA 阿波みよしでは、社会貢献の一環として、妊婦の子育て支援を実施しています。この日、三好市役所で贈呈式が行われ、勝瑞組合長から黒川市長に目録とケースが手渡されました。ケースは縦21cm、横16cmで、手帳のほかカード類を入れることができます。4月から、母子手帳の交付に訪れた妊婦に配られる予定です。

図書館だより

中央 ☎72-2781 開館時間 10~19時
井川 ☎78-4311 開館時間 9~19時

3月の行事予定

[中央図書館] おはなし会 11時~11時30分(毎週土曜日)
[井川図書館]おはなしひろば 10時30分~11時(毎週土曜日)

3月の休館日

・中央図書館 毎週水曜日、27日(館内整理日)
2月16日~19日(蔵書点検日)
・井川図書館 毎週火曜日、27日(館内整理日)

巡回配本日程(3月)

2日 東祖谷-祖谷歴史館-認定こども園-東祖谷小中
3日 西祖谷-榎生小 山城-下名小
6日 井川-井内小-西井川小(高学年)
7日 山城-政友小-山城小(高学年)-山城児童クラブ
9日 西祖谷-吾橋幼・小-山城荘
10日 池田-三縄駅前-三縄幼・小
13日 三野-芝生小(低学年)-王地小
14日 井川-西井川小(低学年) 三野-芝生小(高学年)
21日 池田-馬路小-白地幼-白地小
23日 山城-山城幼・小(低学年) 池田-旧大利郵便局前
24日 池田-萩田商店前-箸蔵幼-箸蔵小

・都合により巡回日・時間などが変更になる場合があります。
・利用される方は、三好市中央図書館までお問い合わせください。

イベントのお知らせ [井川図書館]

スクラップブック教室

講師:馬場 敏子氏(ババカメラ店)
日時:2月26日(日)13時30分~15時30分
場所:井川図書館 1階会議室
定員:15名(小学校3年生以下は保護者同伴)※要申込
参加費:無料
準備物:写真数枚、ハサミ、カッター、のり

新着図書の紹介



[児童書] 井川図書館
わたしたちの家は、ちょっとへんです
著者:岡田 依世子
世の中で「ふつう」とされている家とはひと味が違う「ちょっとへんな家」で育つ小学生女子3人が、日々の悩みや不満や不安にぶつかりつつ、自分の居場所をつくっていく姿をえがく。家庭の事情×友情の物語。



[一般書] 中央図書館
東京二十三区女
著者:長江 俊和
フリーライターの原田璃々子は、民俗学の講師だった先輩・島野仁と東京23区を巡り取材をしている。板橋区を訪れたふたりは、自殺の名所、高島平団地に向かった。だが…。[出版禁止]の著者による、新たな戦慄。

中央図書館
[一般書] ■ヴァラエティ/奥田英朗 ■スローバラード/小路幸也 [児童書] ■牧場物語/高瀬美恵 ■二本あしのワノコすみれちゃん、生きる/すみれのしっぽ [絵本] だっころりん/ナムーラミチヨ ■ぐるぐるぐる/内田麟太郎

井川図書館
[一般書] ■ゆけ、おりょう/門井慶喜 ■津軽双花/葉室麟 ■女子の生活/坂木司 [児童書] ■大決戦!関ヶ原/小沢章友 ■12歳の約束/矢内由美子 [絵本] ■ねんねこトラ/中野日出美 ■たのしいひっこし/岡田よしたか

新着図書は上記以外にもありますので、各図書館にお問い合わせください。

「春夏秋冬 頑張れる」

▼1月27日の徳島新聞で、台湾の女子学生が井川スキー場腕山でスキー体験をしている記事が大きく掲載された。同月29日には、「白銀の世界240人が熱戦」と、東祖谷菅生での恒例となった「第13回雪合戦四国大会」の様子が報道された。

▼私は、3年6か月前の市長選挙で、維持管理費が多額にかかる「音楽ホール」に反対し、三好市の自然を「丸ごと観光地」にすることを公約した。それは、大歩危・祖谷に象徴される自然豊かな三好市は四季を通じて、観光客の誘客ができるからだ。

▼外国人の宿泊者は5年前に比べて27倍となった。2016年の宿泊は前年比50%増の1万4828人。この数字は「大歩危・祖谷」の5ホテルで宿泊した旅行者のみである。また、徳島県内に外国人観光案内所が5か所あるが、その内の3か所は三好市内にある。

▼ラフティング世界大会、ウエイクボードなどの水上スポーツの誘致や雪合戦、スキーなど四季を通じて、自然豊かな三好市を宣伝し、移住による地方創生を図りたい。4月からは、「世界ジオパーク(地球公園)」の認定に向けて教育委員会を中心に取り組んでいく。

市長コラム Vol.19



黒川 征一